

[010]生活体験学習研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/19986>

出版情報：生活体験学習研究. 10, 2010-01-20. 日本生活体験学習学会
バージョン：
権利関係：

日本生活体験学習学会 事務局報告

I 理事会会議日程

第1回理事会

2009年3月14日 於 福岡市大名公民館

第2回理事会

2009年5月2日 於 福岡市大名公民館

第3回理事会

2009年7月11日 於 福岡市大名公民館

第4回理事会

2009年9月12日 於 福岡市大名公民館

第5回理事会

2009年11月14日 於 福岡市立赤坂公民館

第6回理事会

2010年1月23日 於 九州産業大学

II 会員実数

全157名

個人会員 155名

法人会員 1名

(2009年12月14日 現在)

III これまでの活動

第10回研究大会 開催

2009年1月24日 於 大分大学

学会誌第9号の発行

2009年1月20日 発行

事務局だよりの発行

2009年5月15日 第7号 発行

2009年10月6日 第8号 発行

生涯学習実践交流会

2009年10月23日 於 佐賀県立生涯学習センター
(アバンセ)

佐賀県立生涯学習センターとの共催で、生涯学習実践交流会が開催された。「生活体験と佐賀の子どもたち」のテーマのもと、基調講演では学会から古賀倫嗣会員が「生活体験で何が変わる？ その知られざる力」について報告された。また、シンポジウムでは、上野景三理事によるコーディネーターのもと、

学会からは東内瑠里子会員、永田誠会員がシンポジストとして登壇し、生活体験で芽生える子どもの底力について、実践と理論の両方から報告がなされた。

IV 総会・理事会での決定事項

(1) 第10回学会総会における決定事項

まず、事務局長が2008年度の会務報告を行い、了承された。次に、2008年度の会計決算報告がなされた。今回は会計監査である加知ひろ子会員、窪田貴子会員共に欠席であったため、代理で事務局長から相違ないとの監査報告がなされ、了承された。

2009年度の会計予算案を提出し、了承された。

理事会からの報告においては、学会誌第9号の発行に向けての進捗状況、並びに2009年度も学会誌(第10号)を発行予定であることが報告され、了承された。

(2) 第1回理事会での決定事項

第1回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

2009年度の研究活動として、科研Bの申請を研究担当理事を中心に取り組むことが確認された。また、第11回研究大会開催校の緒方理事より、開催に向けて、教室の予約や懇親会会場等について、進捗状況の報告がなされた。

第11回研究大会を目標に、学会誌第10号を発行することが確認された。第10号という節目の号でもあるため、特集テーマを組むことが提案され、テーマや内容については今後さらに協議していくことが確認された。

地方セミナーを日本環境教育学会との共催で9月に開催する計画にある事が報告され、学会としては積極的に関わっていくことが確認された。

佐賀県生涯学習センター(アバンセ)との共催事業を生涯学習実践交流会という形で10月23日に開催することが報告され、承認された。

(3) 第2回理事会での決定事項

第2回理事会では、以下の5点が協議の上、決定された。

第11回研究大会福岡大会の日程について協議された。さらに大会内容について協議がなされ、次回理事会にて開催校企画の提出が確認された。大会内容は9月理事会で大方決定し、11月には学会員への通知を終わらせることが確認された。

学会誌第9号の発送先の確認について、学会費を3年以上納入していない会員については、会費納入の確認が取れた後、学会誌の発送を行うことが協議のうえ、了承された。また、学会誌第10号の特集テーマ、書評の推薦図書等について協議された。

2009年度の研究活動として企画されていた科研B申請について、研究担当理事による拡大研究担当者会議を開催することが協議のうえ、承認された。

書籍『生活体験学習をデザインする』を学会から発行することが報告された。

学会の学術団体登録に向けて協議がなされ、今後申請に向けて事務局を中心に取り組んでいくことが確認された。

(4) 第3回理事会での決定事項

第3回理事会では、以下の7点が協議の上、決定された。

2010年度役員選挙について、選挙管理委員(3名)の選出について協議された。

第11回研究大会について、大会1日目の開催校企画フォーラムの登壇者および基調講演について報告された。また、2日目の学会企画シンポジウムの内容について協議がなされた。内容の詳細は、今後研究担当理事を中心に検討し、理事会で協議していくことが確認された。

学会誌第10号への投稿エントリー者の報告ならびに確認が行われた。また、特集テーマが決定し、テーマに沿った論文依頼を今後行っていくことが協議のうえ、確認された。

佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)との共催企画である、生涯学習実践交流会について、現地との企画会議の内容および進捗状況について担当理事から報告された。

2009年度の研究活動として計画されている、科研B申請について、研究担当者会議開催の確

認がなされ、次回理事会にてその内容について報告、9月に申請書提出の予定で取り組むことが協議の上、決定された。

書籍『生活体験学習をデザインする』について、第11回研究大会までの完成を目標に取り組むことが確認された。また、原稿料や収益についても、担当理事より報告された。

学会の学術団体登録について、分野別委員会や申請書類の内容について協議され、申請に向けて今後作業をすすめていくことが確認された。

(5) 第4回理事会での決定事項

第4回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

2010年度役員選挙の選挙管理員が選出され、有権者の確認、日程の確認等が協議された。

第11回研究大会のフォーラムの内容確認、およびシンポジウムの内容について協議された。本理事会で協議された大会テーマについても研究担当理事を中心に今後検討を重ね、次回理事会で決定することが確認された。

科研B申請について、研究担当理事による拡大研究担当者会議の報告がなされ、申請する研究内容について、「農村部と都市」、「共同体やコミュニティの弱まり」、「子育て知の移転にむけた生活体験プログラムの確立」などをキーワードに協議された。

第12回研究大会開催校について案が提出された。

(6) 第5回理事会での決定事項

第5回理事会では、以下の6点が協議の上、承認された。

2010年度役員選挙の開票結果が選挙管理委員より報告された。開票結果による上位10名の確認ならびに、後日、互選により学会長を選出することが確認された。

第11回研究大会の大会テーマについて協議がなされ、「子ども問題の現在(いま)を問う生活・学力・文化」に決定した。また、研究大会開催に向けた準備等の確認がなされた。

学会誌第10号の進捗状況の報告、ならびに研

究大会を目処に発刊することが確認された。

「超少子化社会における（親育ち支援）事業にかかわる生活体験プログラム開発の研究」のテーマで科研B申請されたことが報告された。

学会の学術団体登録について、申請要件の変更により、要件を満たしていないとの理由で、再申請するよう連絡があった旨、事務局長から

報告があった。今後、再申請する方向で取り組んでいくことが確認された。

地方セミナーとして計画されていた、日本環境教育学会との共催事業は、来年度「4学会＋立教大学ESD研究センター主催事業」として、今後取り組んでいくことが確認された。